

貧酸素水塊速報 (2013年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (独)国立環境研究所
 モニタリングポスト(海上保安庁,国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成25年7月31日～8月1日観測結果

内湾北部の底層は強く貧酸素化しており、多くの観測点が酸素量0.5mL/L以下とほぼ無酸素状態になっています(図1)。このような水塊は、鉛直的に見ると、海底から5m～10mの厚みを持って分布しています(図2)。

また、内湾北部の海面は褐色を呈し、濃い赤潮になっています。

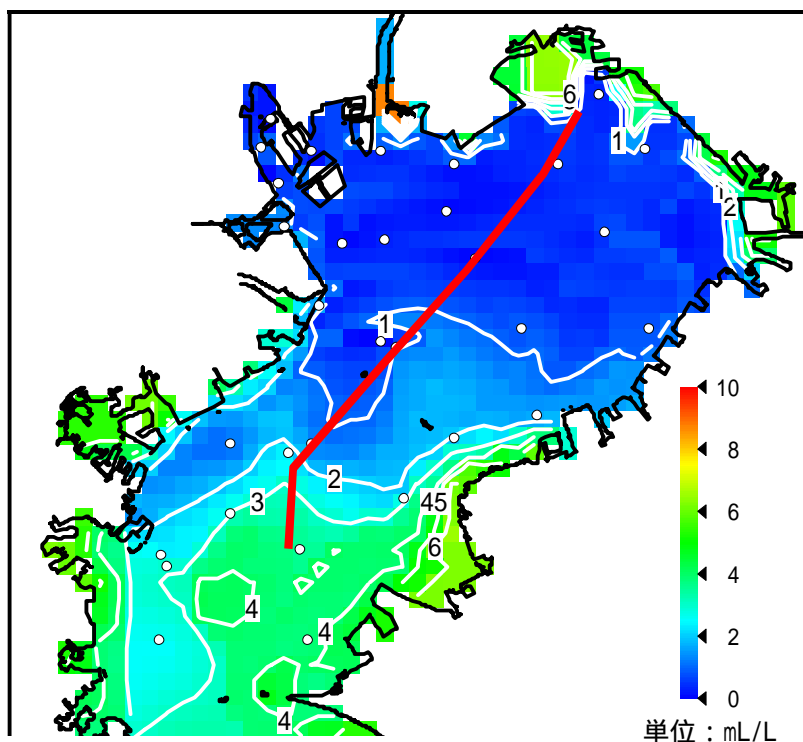


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

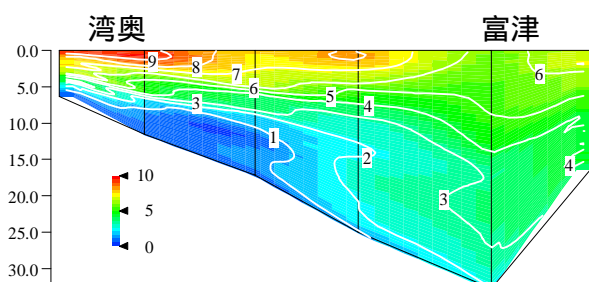


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

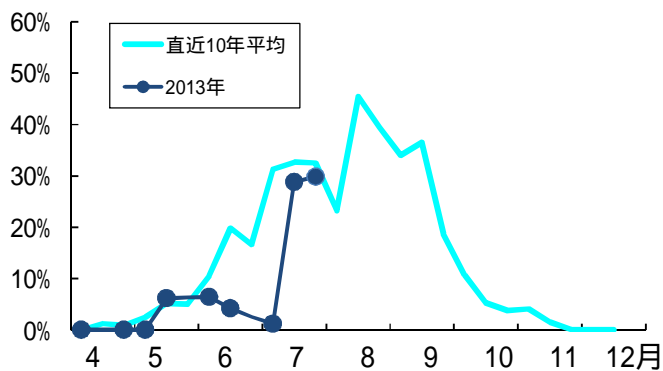


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5mLL以下)が占める割合)